

先進地ヒアリング（案）について

令和 3 年 1 2 月

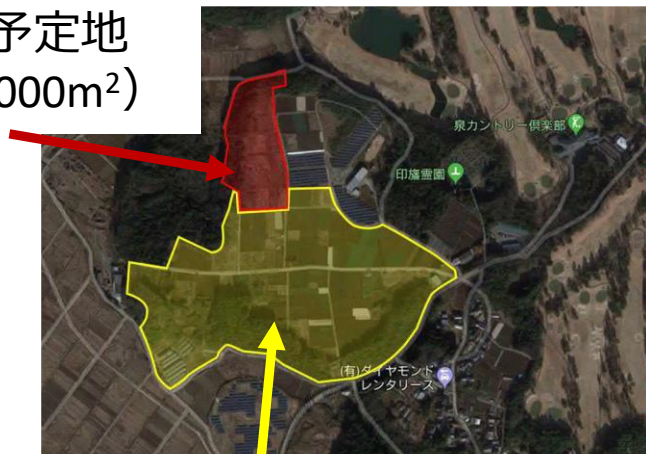
先進地ヒアリングのイメージ

- ヒアリングはリモートで接続する。1ヒアリング先に対して事業の説明15分程度、質問タイム30分程度を想定。
- 時間が限られるため、おそらく1～2箇所が限度と考えます。ヒアリング先の情報は事前に委員に送付し御確認いただきたくことを考えています。
- これから先方に打診するため確約はとれておらず、交渉の優先順位を御検討お願いします。

先進地ヒアリング案①

印西地区環境整備事業組合次期中間処理施設整備事業 と地域フィールドミュージアム構想

建設予定地
(約26,000m²)



地域振興策開発エリア (125,000m²)



- ・ エネルギー回収施設 (約156t/日)、マテリアルリサイクル推進施設 (約15t/日)
- ・ 全体構想「**地域まるごとフィールドミュージアム構想** (地域の元気と来訪者の笑顔があふれるまちづくり)」
- ・ 住民参加の促進 (自治体の関与をできるだけ排除) →株式会社よしだ
- ・ 地域に求められる将来像「**①収益スキーム、②賑わい、③雇用と就労、④農業振興、⑤景観維持、⑥誇り、⑦持続可能性**」
- ・ 100策の地域振興策のメニュー (インフラ整備、複合施設、排熱I礼キ[®]-利用、里地里山保全)
上限費33億8100万円 (税込)
- ・ 清掃工場は地域振興策と連携する恒久施設

佐賀市の「バイオマス産業都市さが」計画

・佐賀市は環境の保全と経済的な発展が両立するまち「バイオマス産業都市さが」を計画。

・CO2分離回収施設を清掃工場内に設置し、微細藻類培養事業者や、農業ハウスへ供給している。将来的にはCO2を利用した産業の創出により、産業振興、雇用創出を図る。



出典：令和2年度廃棄物処理システムにおける脱炭素・省CO2対策普及促進方策検討調査及び実現可能性調査委託業務報告書 環境省

<https://www.env.go.jp/recycle/report/r3-08/co2.htm>

川越市資源化センター及びなぐわし公園



川越市資源化センター
熱回収施設：256t/日
リサイクル施設：53t/日
環境プラザ（つばさ館）

- ・ 熱回収施設の余熱を隣接するなぐわし公園PiKoA※へ供給

※温水プール、会議室、トレーニングルーム、スタジオ、温浴施設、食事コーナー等を兼ね備えた施設、PFI事業により平成24年より開園

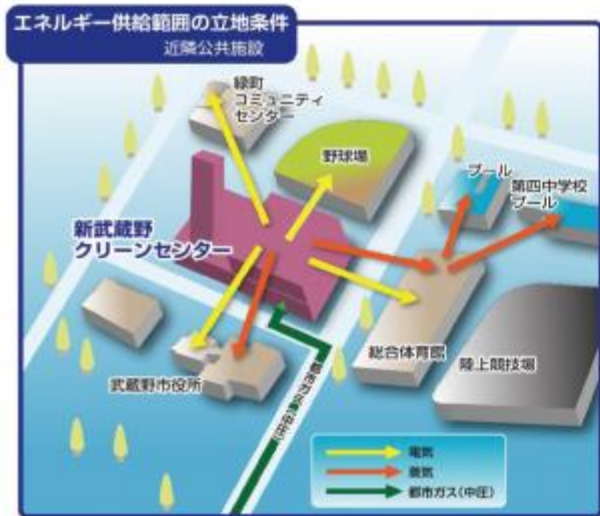
- ・ 周辺一帯をなぐわし公園として整備中（8.3ha）
テーマ「**緑**と**水**と**健康**をはぐくむ、さわやか空間の創出」

スケッチ図

資源化センターは小畔川に隣接しており、敷地内に調整池を設けている（敷地面積10.5ha）



武蔵野市クリーンセンター 街に開かれたエネルギー施設



武蔵野クリーンセンターは、安全・安心な施設であることはもとより、災害に強い施設、景観に配慮した施設、開かれた施設をコンセプトとして整備され、市内のごみの適正処理と周辺施設へのエネルギー供給を進めている。